

自由と、
暮らす



「田舎で暮らすのは思ってるほど甘くはない」と人はいう。

それはきつとそうなのでしょう。

「そういうあなたが『思ってる』より

わたしはもっと『想ってます』。」

そういえる、わたしならきつと上手いく。

U・Iターンのブルーオーシャン!?

(未開拓地)

広島県・安芸高田市でナリワイを興した

TAKE FREE

“アキタカターNZ”に独占インタビュー!!

発行 | 安芸高田市企画振興部政策企画課
〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 番地
TEL | 0826-42-5612 FAX | 0826-42-4376
HP | <http://www.akitakata.jp>
E-Mail | seisakukikaku@city.akitakata.lg.jp

編集・制作 | 特定非営利活動法人ひろしまジン大学
2015年10月発行

Life = 自由。

Nature × Yourself

「移住・定住」ってのは人生の舵を切る方向転換だ。

住むところ、働きた、暮らし向き

すべてを、自由 に決めることができる。

無限の広がりには心はおどる。

しかし自由をはぎ違えてはいけない。

自由という文字は

「自らに由る」(みずからによる)

あるいは

「自ずからに由る」(おのずからによる)

と読める。

つまり自由ってのは

「自然の力と自分の力を軸に暮らす」
ってことなんだ。(と思う)

緑豊かな安芸高田へ

自らの判断で移り住み、

「自由。」と暮らす。

人生の方向転換(アキタカターン)を
華麗にキメた方々に話を伺った。



安芸高田市は2004年、高田郡の吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町の6町が合併し誕生した。中国地方の中部、広島県の北部に位置する、豊かな自然に恵まれたまちである。





移住は人生の選択。
悩むぐらいならやめちゃいな。

孫野菜 代表

有政雄一 (47)



ありがとうございます

株式会社まごやさい 代表取締役。1968年生まれ。安芸高田市出身。中学進学に伴い親元を離れ、広島市内で下宿。大学卒業後リクルートグループや新興企業のキャリアカウンセラーとして、人材教育分野で活躍。2009年にUターン。農業体験事業・野菜販売事業を相次いで興す。平成25年ひろしまベンチャー育成基金金賞受賞。



「孫野菜」とは、じいちゃん・ばあちゃん
が孫のために手間を厭わず作った野菜、
の意。近所の農家が作ったものを近郊
都市（広島）へ送ることで、新鮮な野菜
をローコストで流通させている。工夫
を凝らしたシステムは評判となり、周
辺自治体からの視察が絶えない。野菜
を入れてくれる農家は現在40軒、半年
で倍増している。

東

京のベンチャー企業で活躍していたが、子供たちに「ふるさと」を作りたいと思い、2009年Uターン。農業の経験はゼロだったが、農作業が生き抜く力を育むプログラムになるという可能性を感じ、農業・里山体験事業を創める。採れた野菜を参加者へ送り届けるうちに、野菜販売の可能性に気がつき事業化。新しい野菜の流通モデル「小規模農家ネットワークによる近距離野菜販売事業」で成長を続けている。

そんな有政さんに『田舎でナリワイを興すこと』について伺った。
都会と田舎での違いは？

「都会での人のつながりは『機能』がメインですよね。この人とはこういう協力ができるとか、こんなメリットがあるとか、利でつながることが多い。それに対してこちらは『マイノド(志)』。お前がやるなら力を貸すよ…っていう気持ちのつながりです。広島の方が特にそうなのか、面倒見のいい方ばかりでたくさんの人にお世話になってきた」と言っ。

また感じるストレスが違う。

田舎で起業するコツは？

東京にいた頃は日々の生活そのものにストレスを感じ、週末に遊ぶことが多かった。一方、田舎では生活の中に自然がある。山菜も果樹もキノコも季節になれば採りに行くのが当たり前の暮らし。生活そのものがレジャーのようで、わざわざリフレッシュに出かけずとも充実した日々が過ぎている。また渋滞や行列も少ないため、そもそもストレスを感じることが少ないようだ。

「まずは『警戒される』ってことを知っておくこと」。田舎には田舎の不文律がある。すれ違えば挨拶する・雑草ははびこらせない・集落行事には協力する…自然を敬い、力を合わせて暮らしていく知恵だ。そうやって守ってきた暮らしがあるから、それがわからないヨソ者を警戒する。だから、そのしきたり・考え方・心情を理解することが大切だ。また「わからないことは聞く」という姿勢も大事である。聞きにいけない場合は喜んで教えてくれて、たいてい味方になってくれる。

「それから、地元の寄り合いで

移住を考えている方へ

最後にメッセージをお願いします。しばらくの沈黙の後、耳を疑う答えが返ってきた。

「『悩むくらいならやめなさい』ってことですね。ほとんどの人は今の暮らしに疑問を抱いたり、不安や不満があつて次のステージとして移住を考える。しかし悩んでいるだけでは人は動かないから、悩むだけ時間がもったいない。もし行動ができないなら今の

自分のやりたいことを説明することもお勧めです」。田舎では地元のことを決める会が定期的に行われており、そこで新たに来た人の紹介などもあるという。「僕の場合は農業体験がただの遊びみたいな感じにしか理解してもらえず、初めは文句も言われました。それでも僕が何者なのかを一度に地元の皆さんに理解してもらえたのは大きかったと思います。実際、協力したいという人も出てきましたね。そのうち、週末に子供がたくさんやってきて賑やかになると文句は減り、近隣農家の野菜を集めて販売するようになってから文句は一切なくなった(笑)」。

場所での仕事を一生懸命やった方がいい。U・Iターンは人生の選択。悩むぐらいならリスクが大きいからしない方がいいですよ。とても辛辣な内容だが、カラッと明るい口調で続けてくれた。「何のために移住するかがハッキリしないなら今はそのタイミングではないんだと思います。逆に目的がハッキリすれば意思決定もスムーズになるはずですよ。そして、決めたら行動あるのみ、実際に候補地に行つて、自分の目で情報収集する。そこで発生する悩みは『どこに移るか』の前向きな悩みで、『移る』こと自体の悩みではない。要はエイヤード決めて、腹括つて動くだけです。決めてしまえばやるしかないですから」。

まずは『動くこと!!』。厳しい中に優しさがこもる熱いメッセージを頂いた。

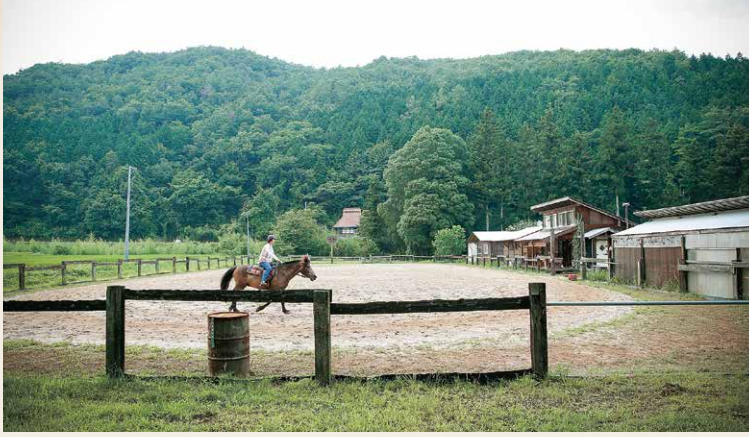


「自ら考え、行動し、達成すること」を目標にした農業・里山体験プログラム。作業のハードルは高めたが、その分達成感がえられるように組み立てられている。参加者は広島都市圏のファミリーが多く、中でも小学生がたくさん参加している。



竹内 拓郎・直美

エオの谷 North Sigle 「ホースセラピー施設経営」



地域の方がシヨベルカーでならしてくれた馬場。仕事終わりにやってきてはビール一本で快く手伝ってくれた。



●エオの谷 North Sigle

安芸高田市美土里町北3305 ☎0826-55-0414(予約制)
<http://eohnotani.p1.bindsite.jp>

無理せず一生続けられることを。

たけうち・たくろう

広島県・作木村(現・三次市)出身。障害馬術の選手として各地を転戦する中、香川県の乗馬クラブを拠点としていた頃に直美さんと出会う。馬と付き合う内に装蹄を覚え、その経験を活かし蹄鉄細工をはじめとしたオリジナルアクセサリー作りも行う。馬のフィジカル面を担当。

たけうち・なおみ

香川県高松市出身。元保育士。子供の頃から馬に強い憧れを抱いていたが、一時封印したまま成長する。大人になって馬への想いが再燃、赴いた乗馬クラブで拓郎さんと出会う。馬本来の在り方を追究しホースセラピー施設を開設。メンタル面のケアを担当する。



元

々乗馬競技の選手だったご主人と、前世が馬だったのではないかと(笑)というほど馬と通じ合う奥様が、馬との触れ合いを通じて心を整えるホースセラピー施設を始めて10年。この地を選んだのは美土里町という地名が気に入ったことが理由だった。

とはいえ、動物のいる施設をつくるのは簡単ではないはず。どのようにして開業に至ったのか、その経緯を伺ってみました。

開業までの経緯は?

「引越してきた当初はアパート住まいで知り合いもいませんでした。ただ息子が転校生ということもあって、先生方が気を使ってくださり生活のことなど心配しているいろいろ相談に乗ってくれて」。1クラス20数名の規模の小ささや田舎ならではの情の厚さも手伝い、先生とはほどなく気軽に話せる間柄になった。その後、当時勤務していた乗馬クラブから学校のイベントに馬を連れていったりするようになり、先生方のサポートの下、徐々に地域に馴染んでいくこととなった。

近所付き合いは?

部活動も近所付き合いも経験がなく、酒もタバコもやらないご主人は当初集落での人付き合いに不安もあったという。しかし近所の方に言われるがままとにかく集まりに参加する内に、徐々に顔を覚えてもらえるようになった。わからないなりに役もこなし、今では馬糞を堆肥として使ってもらえるようになったことを喜んでいいる。

移住のコツを教えてください。

「何をやるにしても相手は人間。気持ちは通じるから、想いがあることはやって欲しいな」と直美さん。

「せっかく移ってきた人が出て行ってしまふのは地域も残念です。だから一生続けられるようなことをして欲しい。好きなことを無理せずに。でも命さえあれば大抵の事はできると思えます。こんな僕でもなんとかやっていますから」と拓郎さん。

ずっと続けたいものは何か? :心の奥にある想いを自らに問いかけたい。



NPO法人やまなみ大学 理事長
アーティスト、デザイナー（店舗設計、グラフィック）

森一紘 (56)

移住は、『移民』だと思う。



森さん自ら設計した家。仕事場に飾ってあるミニチュア模型や、玄関先で出迎えてくれるインパクト大のロボットも森さん自身が手がけたもの。



もり・いっこう
1959年生まれ。店舗設計、Graphic Designを生業とする傍ら、これまでの田舎暮らしで受けた恩恵を還元したいとNPO法人やまなみ大学に参加。現在、理事長。まだインターネットも普及していない時代に田舎暮らしに挑んだバイオニア。



手がけた作品の数々。作風もここに来てからおのずと変わってきたという。

デザイン事務所などを経て29歳で独立。寝る間も惜しんで働いて業績も急成長を続けていたが、気づけば心も体もボロボロになっていた。心身のバランスを取るよう、気づけば『自然に囲まれた環境』を求め、週末は郊外で過ごすようになる。折しも時はインターネット黎明期、田舎に居ながらも都会の仕事ができる可能性に気づき、土地探しを始めた。

移住へのきっかけ

当時は、空き家バンクはおろか行政のホームページもない頃、まずは近郊の市町に手紙を送ることからはじめ、返信のあったところを訪ね歩き、候補地を絞っていった。その中の一つ美土里町の自然林の豊かな風景が気に入り、町の広報紙を通じ土地を譲ってくれる方を募った。はじめから土地を購入するつもりだったのは、そうしないと「自分は逃げるかもしれない」と思っていたからだ。その後、地域の方々と関係を作るため週末ごとにキャンプに通い、名刺代わりに作った小冊子を配り歩くという努力を行ったものの、なかなかいい話に巡り合えなかった。

そうこうしている間に4年の月日が経ち、半ば諦めかけた頃、最後にもう一度行政に相談に行き、再度広報紙に掲載してもらったことになった。するとそれを見た地元の方から「土地を見に来ないか？」と連絡があった。

さっそく会いに行くと「あなたのことはずっと知ってて気にしてた。できれば集落の誰かが譲ってもええ」と申し出てくれることを期待しとったんじゃが、だれも出なかったことがワシは恥ずかしいよ。よかったらウチの土地を譲ろう」。声の主は地元の議員さんだった。

すすめられた土地は集落の一番奥、イメージ通りの場所だった。その日の内に話がまとまり、

手続きにじっくり一年、整地・新築に二年、土地探しから足掛け7年目にしてようやく思い描いた暮らしがスタートした。

集落との付き合い

土地を譲ってくれた方と最初の内によく話し合い、程よく距離を置いた付き合い方ができるような便宜を図ってもらった。しかし、どんな人が入ってきたのか、地元の人は興味があるものか、その辺りを汲んで、引越した時にオープンハウスを開き、地域の皆さんを招いて自分たちのことを理解してもらおう機会を作った。その後子供の成長に沿ってPTAや子ども会などに参加し、自然になじむことができた。

20年目の今年初めて、回覧板の取り纏め係が回ってきている。

移住して良かった?

「住むところは大事ですよ。私のようなクリエイターの場合特に。パソコンのモニターにへばりついて仕事をしていて、ふと目を挙げた瞬間に見える景色がビルなのか、森なのか。その空気感に刺激されて発想が生まれるからね。見渡す限り緑豊かなパノラマの中で仕事ができる、子育てができるっていう環境は贅沢そのものです」。

これからの移住者へ

「移住って言うと『引越越し』とか『住み替え』くらいに

思っている人もいると思うけど、違うよね。むしろ『移民』と思うくらいの方がいい。移民って現地に行ってから苦労する話が多いでしょ？ 勧誘する側は甘い言葉で誘ってくるけど、いざ行ってみると地獄のようである。でもその土地で生きていくという覚悟がなければ結局定着できないし、逆に腹が決まっていれば地域の人も認めてくれる。それくらいの覚悟が必要だよな」。

田舎暮らしバイオニア世代の苦労を思うと、これからのアクタカーンズは恵まれているように思う。





畑で採れた野菜を持ち寄り、試食を兼ねたミーティング。この日はトマトだけで約10種類。味の違いから育て方、調理法など話は尽きることがない。



石井 類さん(27)

孫ターン

- ① 京都府
- ② 単身(現在 新婚)
- ③ 学生
- ④ 3年目
- ⑤ 青年就農給付金
- ⑥ にんにく 他
- ⑦ 祖父の郷
- ⑧ 農機具・防護柵100万

父が農業系の研究者であったこともあり大学卒業後、耕作放棄地になっていた祖父の農地を頼りに就農する。12年ほど空き家で作付もしてなかったため、畑の漏水、獣害、家の改修などなかなか仕事がかどらず苦勞が続いている。しかし、自らいろいろな集まりに参加することで、いないと思っていた同世代の仲間が見つかり、人間関係での充実が励みになっている。課題は多いが、地元集落との関係も作りつつ徐々に前進している。



日野 義一さん(33)

孫ターン

- ① 広島市
- ② 妻(現在 一児)
- ③ 自動車工場→農業大学
- ④ 4年目
- ⑤ 介護ヘルパー
- ⑥ 完全無農薬栽培米、他野菜
- ⑦ 祖父から引き継ぐ
- ⑧ 農機具関連800万(水稲関連一式)

普通に働いていたが、大企業でも安定はないご時勢に、「祖父の土地があるなら」と一念発起して農業を志す。しかし祖父の家を継いだにも関わらず、近隣の方は保守的で完全無農薬のコメ作りが理解してもらえなかった。農法的にも手間がかかるが、買ってくれるお客さんの信頼を意気に感じ、こだわった作り方を続けている。地域では孤立気味であったが、同世代の同じ志を持つ仲間と出会い、新たな力を得ている。将来的には地域に人を呼べるようにして、農に興味を持ってもらいたいと話す。

アキタカーターのバリエーション

- Yターン(嫁ターン)…妻の実家にアキタカーターすること
- Tターン(嫁ぎターン)…結婚を機に夫の実家にアキタカーターすること
- Mターン(孫ターン)…祖父母の家にアキタカーターすること
- Uターン…いわゆる実家にアキタカーターすること
- Iターン…縁もゆかりもなくアキタカーターすること



質問事項

- ① 以前の居所 ② 一緒に来た人 ③ 前職
- ④ 就農何年目 ⑤ 副業など ⑥ 栽培作物
- ⑦ 農地の取得方法 ⑧ お金がかかったところ



児玉 大和さん(43)

Iターン

- ① 東京都
- ② 単身
- ③ システムエンジニア→農業学校
- ④ 3年目
- ⑤ 青年就農給付金
- ⑥ トマト他野菜10品目、お米
- ⑦ グループでの紹介
- ⑧ 農地は草刈を条件にタダ、農機具とハウスに約200万、家賃1万円

在職中、本当にやりたいことは何か?と自問し、『食』にたどり着く。百姓になって3年。「大変だって言われるけど、基本的に最高に幸せだと思う」。収益面では今年度の売上目標200万円(前年比倍)。そんなに儲かる仕事ではないが、今後の見通しは明るい。森脇さんに習いながらみんなで協力して、楽しみながら収益を上げていきたいと考えている。



増野 一幸さん(39)

Uターン

- ① 広島市
- ② 妻(現在 一児)
- ③ 物理学修士 システムエンジニア
- ④ 2年目
- ⑤ 貯金
- ⑥ パプリカ、キャベツ・ケール他野菜
- ⑦ 祖父の郷
- ⑧ ハウス、支柱など40万
あったものをそのまま利用

ゆくゆくは農業をするつもりでIT、ロボットなどの技術を習得。カラダの動く内に、と移住を決意。暮らしにまつわる百の仕事をごこなしたかつての「百姓」に倣い、さらにはコンピューター・ロボットなどの最新技術を取り入れ、『現代の百姓』を目指す。しかし一年目はペースが掴めず、腰を痛めた。百姓は個人事業主。代わりはいない。自己管理の重要性を悟った。移住してからは、メシは旨い、通勤時間ゼロ、時間も自由でいいことづくめという。自己管理もサラリーマンが務まれば誰でもできる。同世代の輪が広がればと願っている。

有機野菜で身を立てる「アキタカーターズ」



agreen あ・ぐり〜ん

安芸高田市の若手有機農業者が集まった生産・出荷のグループ。月1回定例ミーティングで情報交換や生産計画を立てる場を開いている。



「今の若者が百姓をしたいという。じゃが、実際すぐ喰うていけるかという喰うては行けないよ。若い子が有機無農薬で作っても売るところがない。だからワシらが売るところを見つけて、安心して野菜作りが

できるようにしたい。将来も百姓しとつたら安心して喰うていけるようにしたい。その道を作りたんだよ」。これまで自分が試行錯誤しながら取り組んできた末に築いたものに自信がある。こうすれば絶対うまくいくというノウハウと売り先がある。しかし、なぜそこまで若者に肩入れをするのか?「こういうのはね、自分ひとりじゃ小さいんだよ。輪を広げると一人より楽しい。いろんな人がいるといろんなことができるようになる。みんなでワイワイガヤガヤやる方が百姓は楽しいし、楽しくやって喰うて行けるのが一番いい」。自分もこれまでそうやってきたのだ。



広島市からの嫁ターン

そんな森脇さんにこれから農業を志す人へのメッセージを尋ねると、「若い人は好きなことをやるといい。百姓は皆、社長だから自分の責任で何をやってもいい」とのこと。この集まりについても「来ても来なくてもいい。だけど楽しかったら来るじゃろ。そんなところにしていきたい」とさきも愉快そうに話してくれた。

地質調査・井戸堀の仕事の傍ら、妻の実家で農業を始め、退職後、専業となる。珍しい野菜を有機無農薬で作る方法を確立し、広島市の飲食店や行商を顧客に持つ。販路はあるが、収量が不足するようにな状況になったころ、志を同じくする若手農家と出会いグループを立ち上げた。その想いの根底に流れるものを尋ねてみた。

森脇 良典さん(62)



幸恵さん(63) クリエーター

福本 整さん(64) 建築家



季節の移ろいを楽しむ自然豊かな田舎生活を求めて、広島市近郊から九州まで古民家を探し続けていた福本夫妻。たまたま見つけたのが安芸高田市の空き家バンクの物件でした。下見に訪れたのは2008年の初冬、曇天模様の日。十数年間放置されていた家は屋根も破れ、中には不用品が置き去りにされ廃屋のよう、庭も荒れ果てていて、当初幸恵さんは立ち入るのも憚られるような状態でした。しかしそこは建築家の整さん。構造部分では使えると判断し、地形や周辺の状況、眺望の良さからこの家を手に入れることに。それから4年、コツコツと手作りで改修し、念願の「緑に包まれた

簡素な田舎生活」が始まりました。出来上がった空間は暮らしを楽しむ二人のセンスがにじみ出ている理想の田舎生活そのもの。時々友人を招き音楽会や映画会を開いていたお二人。画家、音楽家などクリエイティブな人々の集う隠れ家になればと、土日だけささやかにカフェもオープンしています。建築家の経験を活かして古民家改修を検討される方の相談にも乗ってくださること。ぜひ訪ねてみてはいかがでしょうか。

●風のカフェ
安芸高田市吉田町多治比720
☎090-1355-3195
営業11時～17時(土日のみ)

安芸高田市「空き家情報バンク」

安芸高田市では、田舎暮らしを希望される方から問い合わせの多い「空き家」の情報提供を行っています。古民家や畑付きなどお望みの物件が見つかるかもしれません。空き家情報バンクに登録されますと、情報をアップデートしたタイミングでお知らせいたします。



<http://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/jutaku/main/>

TURN CAREERS | 14 YEARS

FROM KYOTO



アーティストは田舎でこそ
洗練される気がします

アニバーサリーデザイナー

佐久間 環

さくま・たまき

広島県安芸高田市出身。大阪FD専門学校を卒業後、大手ドレスメーカーにて、チーフデザイナーを務める。国内外を行き来し、レンタル、オーダー、TV関係、芸能・文化人の挙式ドレスのデザイン・製作を担当。2001年広島に拠点を移し「Tamaki Alta Moda Sposa」を設立。

安芸高田市に戻ったきっかけ
「会社勤めのころは、よく出張先のホテルのお風呂で泣いていた」。前職について尋ねると、笑ってそう言った。「考える暇もないくらい激務に追われて、私はこのままでいいのかわからない、不安でたまらなかった」。話の内容とは裏腹に口調は明るい。毎月5本新作ドレスをデザインし、東京・上海を飛び回って指示を出すルーティン。大半をホテルで過ごす中「指示を出すよりもやっぱり、ものづくりをやりたい」という想いが募り、2001年に退職。

大手ドレスメーカーを辞めて故郷に帰って来た当時、安芸高田市に住み続ける気はなかったらしい。「ただただゆっくりしたかった。習い事をしたり、旅行に行ったり…。半年は全く仕事をしなくて、近所の人は怪しんでたかも(笑)」。仕事再開のきっかけは、前職で付き合いがあった人の依頼。その後、ポツポツ県外の仕事が入ってきた。都会に拠点を移すことも考えたが、広島第一号のお客様から口コミが広がり、あつという間に仕事が忙しくなった。住み心地

の良さと作業スペースの広さを考えて定住を決意。
「元々はドレスデザイナーだが、今ではアニバーサリーペーパーや着物のリメイク、近所のおばあちゃんの服の裾上げから、『安芸ひろしま武將隊』の衣装まで、『縫い物なんでも引き受けます』と言った様相。「結局前と同じで、忙しい日々になっちゃったけど、やりたい仕事をやっているから、もうお風呂で泣くこともありませんよ」。

佐久間さんは自分の仕事を「アニバーサリーデザイン」と称す。つまり記念日を彩る品々を作る仕事だ。部屋には純白のドレスや真紅のオペラ衣装などが並び、日常とは違った華やかさが漂っている。

安芸高田市でよかったこと
「雑音が無いから作業に集中できるし、夜中でも近所を気にせずミシンを使える」。マンションでは音が響いて気が気ではない。帰ってきた当初は訝しげにしてた近所さんもメディアで取り上げられたのを見て仕事を頼みに来たり、紹介してくれるようになった。

「アーティストは田舎でこそ



洗練されるんじゃないでしょうか。安芸高田市は広島市内へも空港へも1時間で行けるし、お客さんとのやり取りはインターネットで十分できる。材料も私が使いたいものはメーカーから直接取り寄せるし、何も不便を感じません」。

移住を考えている人へ
「簡単に『ここはいいところですよ』とは言えません。1ターンの人は特に、何がやりたいのか、目的と覚悟を持ってきてほしい。また、地域とのコミュニケーションは大事です。最初は警戒されるかもしれませんが、一度つながればその絆は強い。何かあったときに助けてくれますし、仕事を広げてくれます。クチコミに勝るものはありません。ものづくりでできる人が来てくれると、私も嬉しいですよ。畑違いの人だからこそ得られるヒントや、共感があります。ぜひ安芸高田市に来てください」。



田平 幸音 (39)
Zakkashop 春*春 店主
愛媛県今治市出身。結婚を機に旦那さんの実家である安芸高田市にTターン（嫁ぎターン）。一男一女の母。子供は野生児ながら自然の中で外遊びばかりして育った。子育てがひと段落した頃からワイヤークラフトを始め、イベント出店を重ねる内に店を構えるに至った。



Zakkashop 春*春

<http://zakkaharuharu.wix.com/haru2>

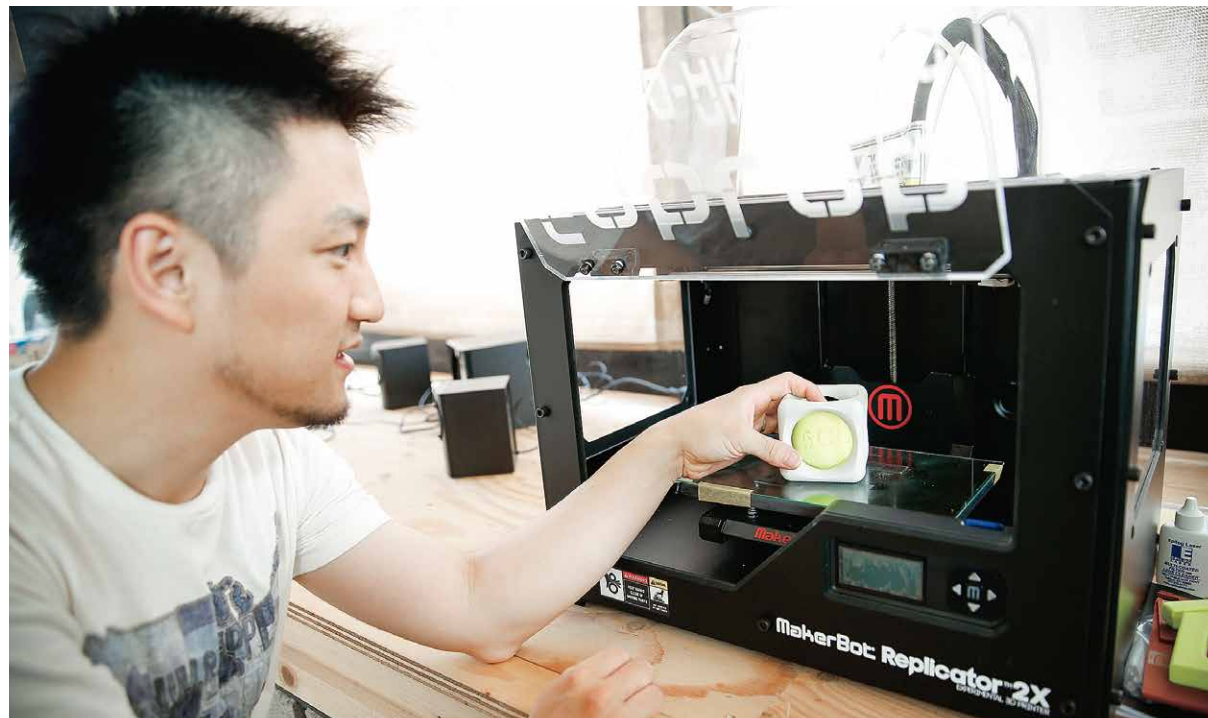
ワイヤークラフト作家の田平さん、自宅でのガレージセールが新聞で取り上げられた際に「ウチでも何かできないか？」と突然連絡があった。訪ねてみたのは旧城下町の一角。味のある古い納屋が目にとまり、借りてお店を開くこととなった。それから5か月かけてセルフリフォームを行った。廃材を利用したので総工費はなんと約20万円ほどで済んだという。

作り手の仲間たちに出品を呼びかけ、地域のクラフト雑貨を扱う店として、2013年3月にオープンした。

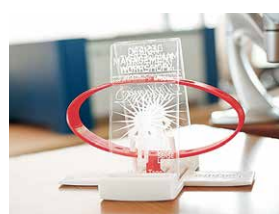
主婦業の合間を縫って、週3日間だけオープンするという無理ないスタイルを築いている。が、その内1日は作家を招いた「Workshop」を行い、モノ作りを通じた交流の拠点になるよう心掛けている。現在は作家数も50名ほどに増え、ネットショップを開設するなど、徐々にその輪をひろげている。

手芸・工芸など腕に覚えのある方やその道を志す方々には心強い味方になってくれるに違いない。

●Zakkashop 春*春
安芸高田市吉田町吉田740-1
☎080-19906-5417
営業11時～17時(火水土のみ)



渡辺洋一郎 (34)
鳥取県出身。第一子の誕生に伴い、2013年妻の実家へYターン（嫁ターン）。自動車メーカーのエンジニアとして働く傍らFablabを立ち上げ、運営に当たっている。地域に根付いたムーブメントとなるよう地元密着型のイベントを画策している。



Fablab Akitakata

<http://www.fablabhiroshima.com>

「自分のビジネスを作りたい人と一緒にモノ作りをしたり、そういう人々をつなぐエム（Hub）になりたい」と話す渡辺さん。子供・市民個人事業主・企業など、モノづくりをキーワードに人がつながる場を作るため、日々挑戦が続く。

広島県内で唯一のFablabは、モノづくりに関心がある移住者の拠り所となる頼もしい存在だ。

「自分のビジネスを作りたい人と一緒にモノ作りをしたり、そういう人々をつなぐエム（Hub）になりたい」と話す渡辺さん。子供・市民個人事業主・企業など、モノづくりをキーワードに人がつながる場を作るため、日々挑戦が続く。

Fablab（ファブラボ）とは、3Dプリンタやレーザーカッターなどの工作機械を備えたオープンな工房と、その世界的なネットワークのことで、世界60か国、300箇所以上に広がっている。生活者が「受け身の消費者」から「自ら考える作り手」へ成長することを促し、アイデアをカタチにしてイノベーションを興すための次世代のインフラだ。

2014年12月、安芸高田市にFablabが誕生し、現在、講習を受けた会員が20名いる。ここを立ち上げたのが移住者の渡辺さん。

「地域と連携したモノづくりの新しいムーブメントを興したい」と私費を投じて機器を揃え、工房を構えた。パソコン上でデータを作成すれば、あとはデジタル機材がオリジナル品やビジネスの試作品などを作ってくれる。

データで見る、安芸高田

大胆にも、東京23区 & 広島市とくらべてみました。

※独立行政法人統計センター「統計でみる市区町村のすがた2015」より算出

	Tokyo	Hiroshima	Akitakata
面積 (安芸高田市を1として)	× 1.16 (626.7 km ²)	× 1.68 (906.5 km ²)	× 1.0 (537.7 km ²) 大きな差はありません。
人口 (安芸高田市を1として)	(8,945,695人) 284.11	(1,173,847人) 37.28	(31,487人) 無人島が…。 1.0
コンビニの数 人口1万人あたり	4.8	3.6	3.5 コンビニエンス具合(便利さ)では遜色なし?
図書館の数 人口10万人あたり	3	1	19 (10万人もいませんが) 他を圧倒!!
待機児童の数 2014年調査実数	5,229	372	0 子育てしやすいそう。
小学校教員 一人当たりの 児童数	18.07	19.62	9.05 手厚い教育が受けられるかも…。
郵便局の数 人口1万人あたり	1.2	1.4	5.4 充分すぎます。
一般診療所の数 人口10万人あたり	5	7	6 医療も安心。(歯科医の数は東京の約半分。みなさん歯は大切に!)
介護老人 福祉施設の数 人口10万人あたり	2	4	19 老人が多いのか 老後も安心なのか。
産直市の数 常設・人口10万人あたり	0.18	0.68	28.58 新鮮野菜食べ放題♪ (10万人もいませんが… データって恐いね(笑))
飲食店の数 人口1万人あたり	72.2	55.7	25.4 選択肢は多くないです。自炊で身体も財布もやさしい暮らし?
一住宅当たり 延べ床面積 (m ²)	60.83	79.50	133.04 ひろびろとした暮らしができそうです。

Tokyo

Hiroshima

Akitakata



安芸高田ってこんなところ。

今さらですが、この冊子、安芸高田市の定住促進パンフレットなのでした。平成16年に合併して『安芸高田』という名になりましたが、名前はまだまだ浸透してなくて「それってどこだっけ?」と言われることも多々あります。というわけで安芸高田のことをちょこっと紹介いたします。



LOCATION

羽田空港から 140分 (広島空港から自動車利用の場合)
大阪から 239分 (自動車/中国道経由)
広島バスセンターから 69分 (自動車/国道54号線利用)

【気候・自然環境】



標高200m前後の盆地型気候。
朝は寒暖差から霧が掛かることが多い。→水やりはちょっと楽かも。

市内の真ん中を
江の川が流れる。

→市内には分水嶺が2カ所あり、降った雨は瀬戸内海と日本海へと分かれていきます。



山

面積の約8割
(79%)が森林

→その内の約7割
(68%)が自然林。
緑豊かです。

川

ちなみに海はありません。

【文化】



戦国武将
毛利元就の本拠地

→郡山城は日本名城にも選ばれています。



神楽 (市内に22の神楽団)

→その他、花田植え・お祭りなど 伝統文化が色濃く残ってます。

【スポーツ】



サッカー

→いわずと知れた「サンフレッチェ広島」のマザータウン。練習場は吉田サッカー公園です。



BMX

→土師ダムサイクリングターミナルは JBMXF公認の本格的なBMXコース。

ハンドボール

→実業団チーム・湧永レオリックの本拠地があります。



サーキット、射撃場
乗馬クラブ、パラグライダー
ハングライダーなど

→珍しい競技のスポーツ施設も充実!!

公共交通が微妙・・・ [40代♂ ◀広島]

公共施設に音楽スタジオがある。しかも安い!!
意外と中小企業が多い
図書館は充実している
芝のサッカー場!!

BMX、サーキット、射撃場、
乗馬クラブ...珍しい施設が多い

ネットが鬼速 (全戸光回線完備)

電車が一日5本!? (三江線上り・下り共に一日5本ずつ)
普段の買い物は安芸高田で充分用が足りる
ネットがあれば不便はない
これといって特徴がない
車さえあれば、便利な田舎暮らし

車は必須。

携帯の電波が微妙...
(山あいの家は特に)

治安はいい
日本海も広島市も車で一時間ちょい
ゴミ袋が高い
安芸太田町とよく間違えられる

玄関に野菜が置いてある

[30代♂ ◀鳥取]

子ども好きが多い
すれ違う人が挨拶してくれる
集落イベントは結構多い
言葉はキツイが心はやさしい

思ったほど干渉されない

お年寄りの話が長い。
同じ話を何度もする
方言が聞き取れず相槌でゴマかす
面倒見のいい人ばかり
盆暮れにワニ (!?) を食べる
灰皿の設置場所が多い
お年寄りがチョー元気!!
ウワサは早い

酒豪が多い

広葉樹の森が多い。

薪で燃料確保。いざという時も安心。

早朝 (7時) に人が訪ねてきてビックリ

給食の地域自給率 なんと8割!!

子供がノビノビしてる [40代♀ ◀香川]

子どもたちが礼儀正しい
教育面に不満はない

サッカークラブのコーチが元プロ選手
進学に対する意識は都会より低い
習い事・塾の選択肢は都会ほど多くない

なんか いろいろ ちょー どいい!!!

[30代♀ ◀東京]

星がきれいです☆

ほどほどの田舎感が心地いい。

自然は豊かで...手ごわい

[30代♂ ◀広島]

自然災害は少ないかも。

いろんなものが採れる

- お米
- 酒米
- 和牛
- ジビエ
- もち米
- そば
- 卵
- ヤマメ (のイクラ)

- 鮎
- 桃
- 梨
- ぶどう
- 柚子
- 野菜各種
- しいたけ
- 味噌
- 醤油

神楽をナメてました。
...スミマセン。

夜叉うどん

シカと衝突しそうになる
ケモノに畑を荒らされた

- ハクビシン
- イタチ
- 熊
- 狸
- 狐
- 鹿
- 猪
- サギ
- ノネズミ
- ヘビ
- ムカデ
- ハチ

[40代♀ ◀広島]

ケダモノが多い

元就たん...。 [40代♀ ◀山口]

移住者リアルボイス

移住者25人に聞きました。
安芸高田市で感じたこと・驚いたこと

歩いている人が少ない

ってか人が少ない

[20代♂ ◀大阪]

自転車に乗る大人は珍しがられる
なんかいろいろすいてる
信号が少ない

温泉がすいてる

夜が早い。19時ラストオーダーの店も!!

パチンコはある

24時間営業のスーパーがある

飲み屋も少ない
遊ぶところがない

これってブルーオーシャン?

洋食屋さんがほしい。